



自然災害との共生と豊穡の大地の物語

栗駒山麓ジオパークだより 112

問ジオパーク推進室

☎(24)8836

ファクス(45)5936



栗原の魅力を深掘りし、伝え広める学術研究等奨励事業

栗駒山麓ジオパークでは、栗原の魅力をより深く、そして広く知ってもらおうと、研究者と協力して資源を発掘し、調査しています。この取り組みを紹介します。

●学術研究等奨励事業とは

市内には、栗駒山を源とする3本の迫川が流れ、火山活動や川の動きによって、多様な地形や地質が形づくられてきました。そして、そこに生態系や文化が成り立っています。

栗駒山麓ジオパークでは、これらを資源とした教育活動や観光事業に取り組んでいます。そして、新たな資源の発掘と学術的価値を見いだすことを目的に、エリア内で研究活動を行う研究者に調査費を助成しています。

●栗原の資源を発掘

栗原には、いつ、どのようにつくられた地形・地質なのか、先人たちはそれらとどのように向き合い、今を生きる私たちの生活にどのような影響を与えたのかなど、まだ解明されていないことがあります。

研究者は、こうした謎を解明するため、日々丹念な調査を行っています。その中で新たに判明した事実は学術的に価値となり、栗原にとっての新しい資源にもなります。

また、研究によって見いだされた資源の活用法を探ることも重要です。栗駒山麓ジオパークでは、これからも研究者と連携しながら、資源の重要性や新しい価値を見いだし、調査・研究で得られた成果を伝える活動をしていきます。

●価値を生かす

これまでの研究成果は、栗駒山麓ジオパークビジターセンターの展示内容や教育活動、ジオガイドの解説などに生かされています。例えば、川の動きなどを学べる実験装置「エムリバー」の活用法の研究成果は、

川での土砂の侵食・運搬・堆積について実験を通して学ぶ学習の素材になっています。

栗原には、謎に包まれた資源がまだまだ眠っています。もし、身近で気になる「何か」があればジオパーク推進室に、相談してください。



▲荒砥沢地すべり地の見学の様子



▲エムリバーを使った学習の様子

令和7年度栗駒山麓ジオパーク学術研究等奨励事業成果報告会

栗駒山麓ジオパークについて、最新の研究成果を発表する報告会を開催します。ぜひお越しください。

- 日 時 3月11日(水) 午後1時30分～4時30分
- 場 所 志波姫この花さくや姫プラザ
- 内 容
 - 荒砥沢地すべりの変動実態
 - 伊豆沼・内沼周辺の地形
 - 伊豆野壇のジオツアープログラム
 - 高齢者・障害者向け観光の可能性
 - 文化・民族遺産の整理と観光への活用

※オンライン配信も行います。オンラインでの観覧は事前申し込み制です。

詳しくは、ウェブサイトで確認してください。



▲昨年度の報告会の様子

くりはら KOKO ZUKAN



岩ヶ崎高等学校

マスコットキャラクターが決定

本校の魅力を発信し、より親しみをもってもらえるよう、生徒の発案でマスコットキャラクター制作を進めてきました。

生徒と教職員からアイデアを募り、40点ほどの作品が寄せられ、その中から執行部で3点に絞りました。文化祭で来校者の皆さんや生徒、教職員による投票を行った結果「いわはなちゃん」と「まなぶくん」が、わずか1票の差に。その結果を受け、昨年の秋の生徒総会で、2体ともマスコットキャラクターとして採用することが決まりました。

校章と学校の花である柏の葉と、はなみずきをモチーフにした「いわはなちゃん」は、生徒の学びと挑戦をそっと見守る妖精です。「まなぶくん」は新しい制服と校章からヒントを得て、マナーを大切にしながら行動する生徒の手本をイメージしました。どちらも穏やかで、学び続ける情熱を秘めた本校の生徒にぴったりです。

これからもこのマスコットキャラクターと共に、地域に愛され続ける学校を目指します。



▲まなぶくん

▲いわはなちゃん

みんなで としょかん

市立図書館 ☎(21)1403

【開館時間】

- 火～金曜日:午前10時～午後6時
- 土・日曜日:午前9時～午後5時

【休館日】

- 毎週月曜日、祝日(月曜日が祝日の場合、その翌日も休館)



お知らせ

●インターネットや電話で貸出期間を延長

市立図書館蔵書検索サイトで、図書館資料の貸出期間を延長できるようになりました。また、市立図書館と各地区図書館の窓口や電話でも、開館時間内であれば、貸出期間を延長できます。

延長日数 申し込み当日から2週間

延長回数 1資料につき1回まで

延長できない資料

- 予約が入っている資料
- 返却期限が過ぎている資料
- 他の図書館からの借用資料

情報交換プラザ展示

図書館1階にある情報交換プラザは、個人やグループの作品展示スペースとして、無料で利用できます。作品の展示を希望する人は、図書館まで問い合わせください。

今月の おすすめ本

フェイスウォッシュ・ネクロマンシー

栗原 知子 著 筑摩書房

息子の不登校に悩む40代の「私」。美容品を扱う店でテスターを使用した日から、祖母の霊を降ろせるようになってしまった。掃除に打ち込む「私」の傍らで、祖母は何をどう感じているのか。第41回太宰治賞受賞作。著者は栗原市出身。

カタッポ

大原 悦子 文、山村 浩二 絵 福音館書店

カタッポとは、片方だけ落とされたてぶくろのこと。いろいろなカタッポたちが、駅長室の落とし物箱に入れられていました。ある夜、箱を整理すると聞いたカタッポたちは、みんなで脱出して、持ち主を探しにいくことに…。

※ブックる号、おはなし会の日程は、市内の情報カレンダーをご覧ください。